

授業科目名	観光プロジェクト立案演習	担当教員	大社 充
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	演習		
開講年次	3 年 第 3 クォーター		
講義内容	一般的に観光系事業は、商品・サービスの開発、それら商品・サービスの販売、そして顧客対応を行い、資金の収支を管理しながら営まれる。大学が所在する豊岡市には、城崎・竹野・出石町・神鍋高原といった観光地が点在しているが、本演習では近郊の観光地において、学生のアイデアによる観光系商品・サービスの企画を行い、マーケティング活動や来訪客の受け入れまでの一連の業務を事業計画にまとめることで観光サービスの実際を学ぶことを目的とする。		
到達目標	観光系事業の商品・サービス提供における一連の業務プロセスを事業計画に落とし込むことにより、観光系事業がいかに運営されているのかについて理解を深める。さらに商品・サービスの企画開発および事業計画の作成などを通して、観光・旅行業系の事業運営に求められる基礎知識と実践力の習得を目指す。		
授業計画	1 日目～2 日目「オリエンテーション・設問・基調講義・演習」 3 日目～4 日目「演習・演習指導」（中間案を作成する） 5 日目～6 日目「演習・中間案提出・中間案に対する指導」（最終案を作成） 7 日目～8 日目「演習・最終案発表会・意見交換・講評」 ※学生はフィールドに出て調査等を行う場合もある		
事前・事後 学習	本演習に向けて、常日頃から観光系の商品・サービスに関して、各自の興味関心を高めておいてもらうことで、よりよい成果を生むことに繋がる。		
テキスト	特になし		
参考文献	大社充『体験交流型ツーリズムの手法』学芸出版社・2008 年		
成績評価 の 基 準	事業構想力（40%）、事業計画の精度（30%）、協働する力（30%）		
履修上の注意 履修要件			
実践的教育	観光分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。		

備考欄	
-----	--